

**2010年3月期
決算説明会**

2010年5月17日

株式会社ジェイテクト

1. 2009年度 業績

2. 2010年度 事業計画

3. グローバル事業戦略

4. まとめ

1-1) 財務データ①

	2008年度	2009年度	対前期比
売上高	10,170	7,696	75.7%
営業利益	223	4	1.9%
経常利益	111	△ 2	—
当期純利益	△ 119	△ 194	—

2009年度の特別損失の内容

(億円)

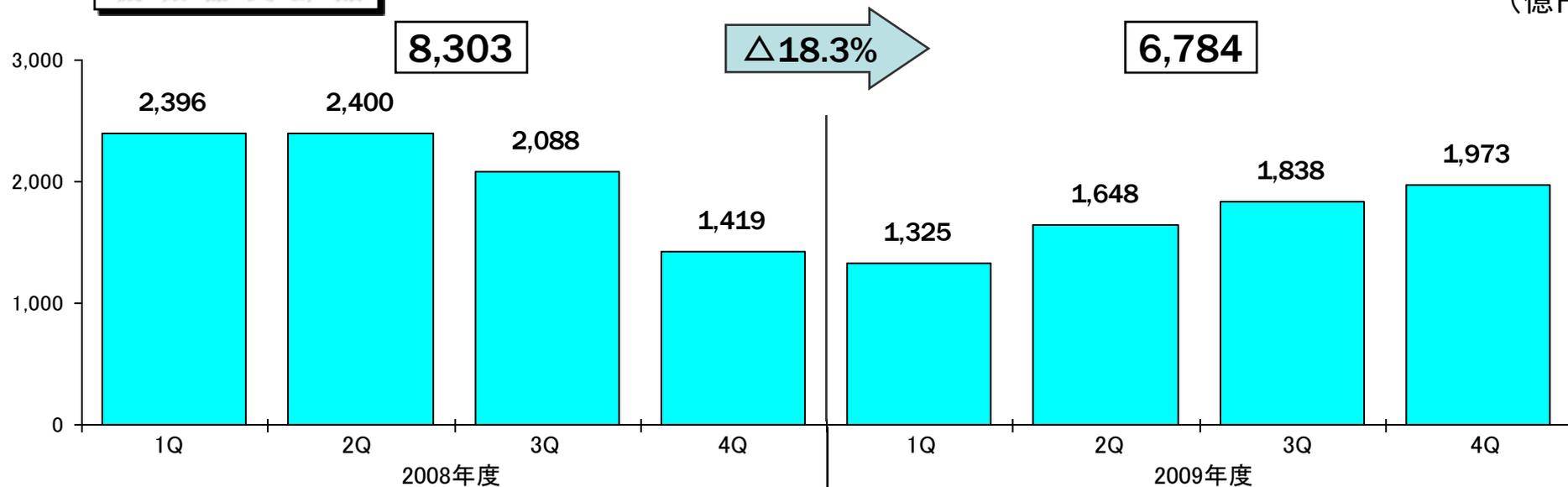
固定資産除却損	8
減損損失	13
製品保証引当金繰入額	58
事業構造改善費用	95
その他	17
計	191

1-2) 財務データ②

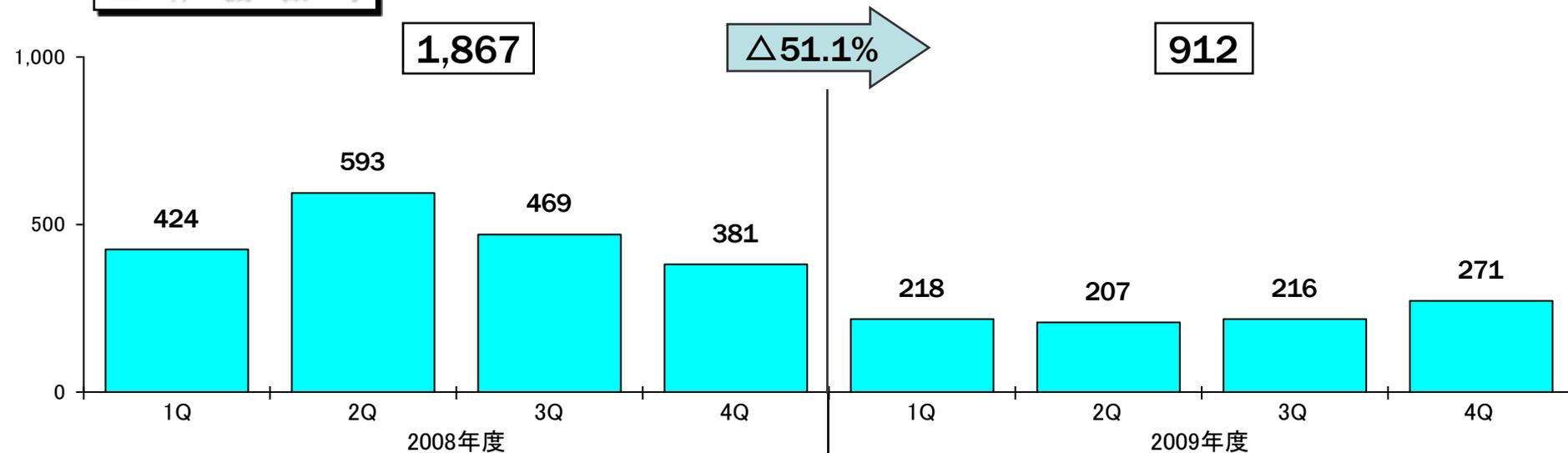
	2008年度	2009年度	対前期比
棚卸資産	1,277	1,244	97.4%
有利子負債	2,162	2,373	109.8%
設備投資額	511	252	49.4%
減価償却費	558	500	89.6%

1-3) 事業別売上高

機械器具部品

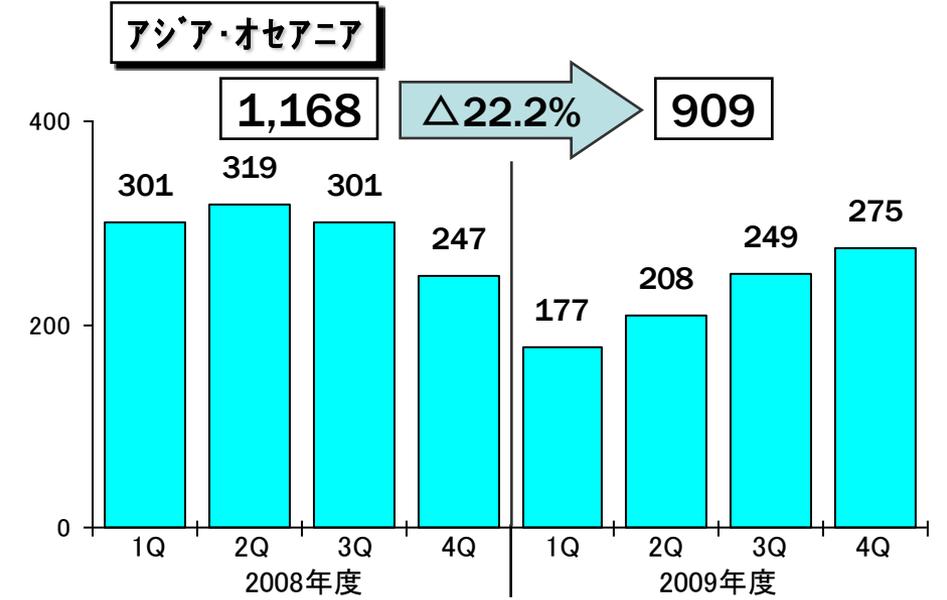
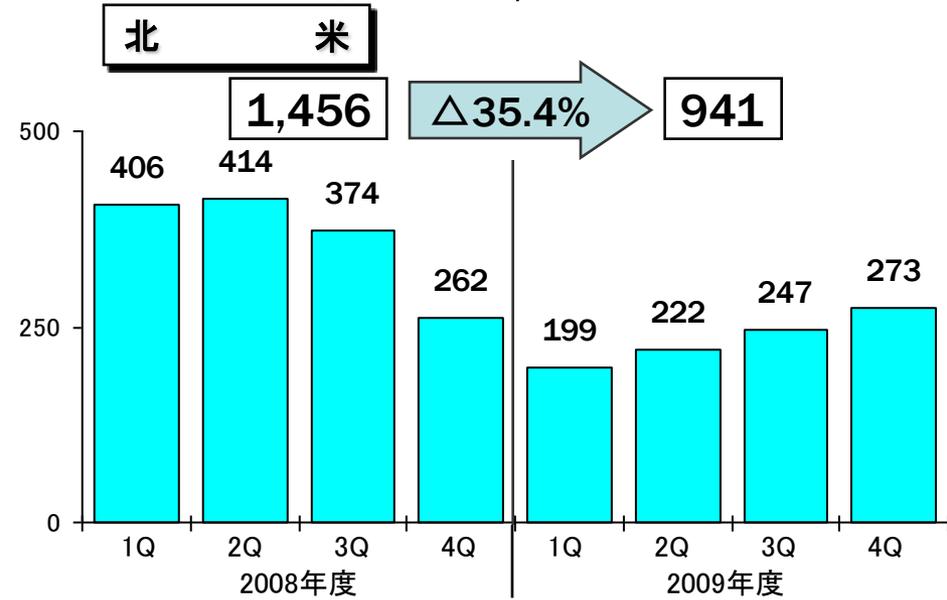
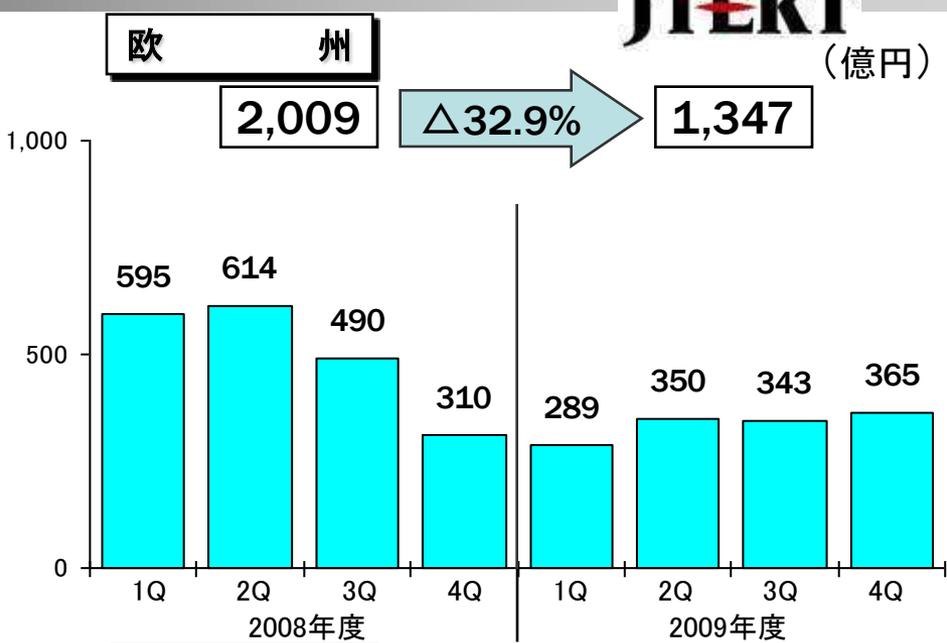
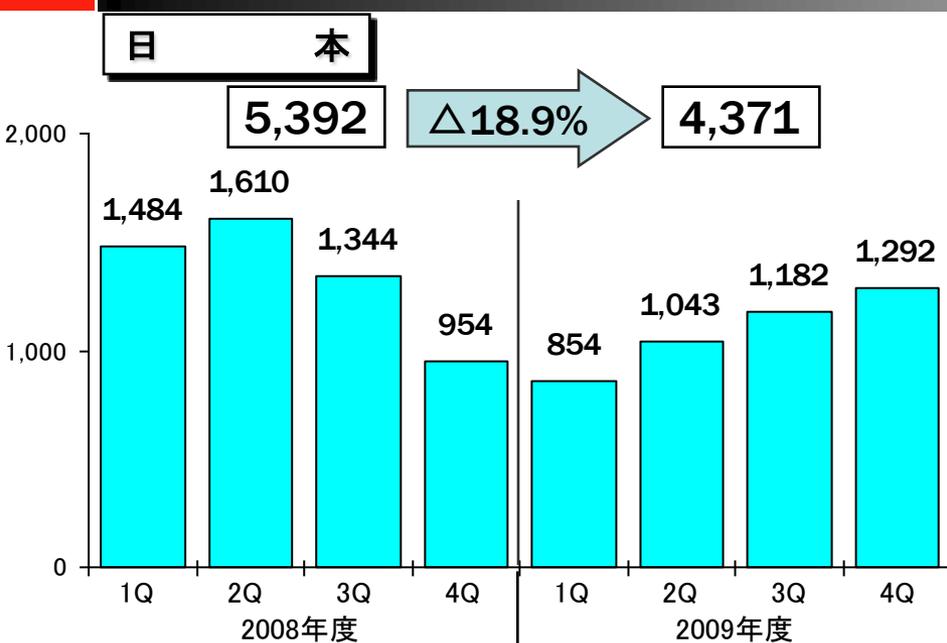


工作機械等



1-4) 地域別売上高

※「その他の地域」については記載していません。



1-5) 事業別営業利益

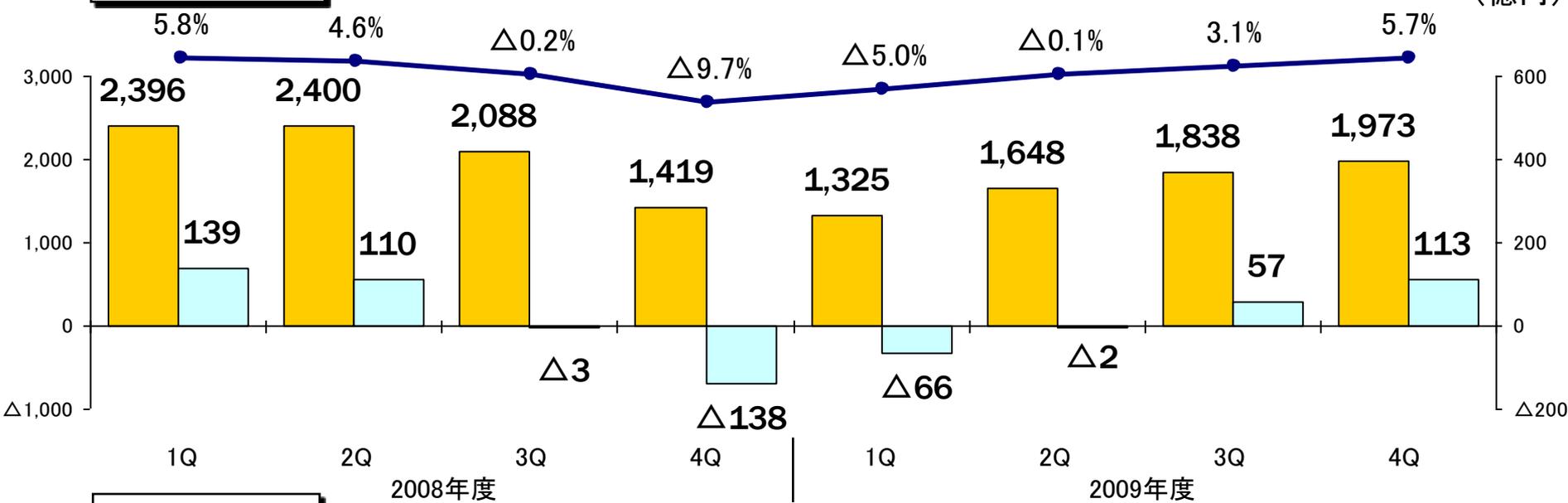
※セグメント間の「消去」については記載していません。



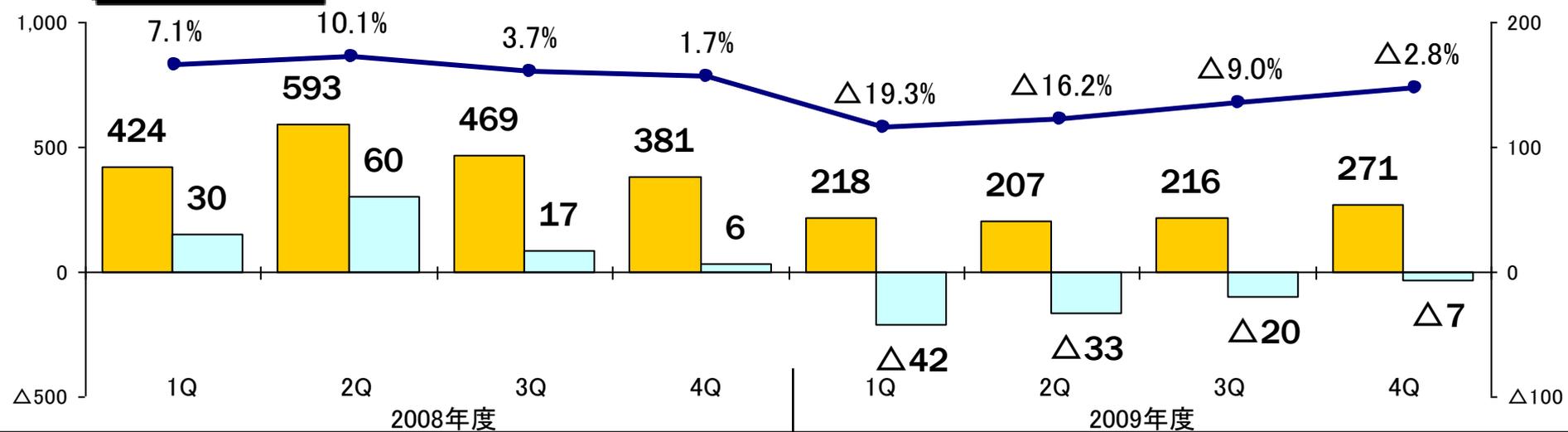
(億円)

機械器具部品

■ 売上高(左軸) □ 営業利益(右軸) ● 営業利益率



工作機械等

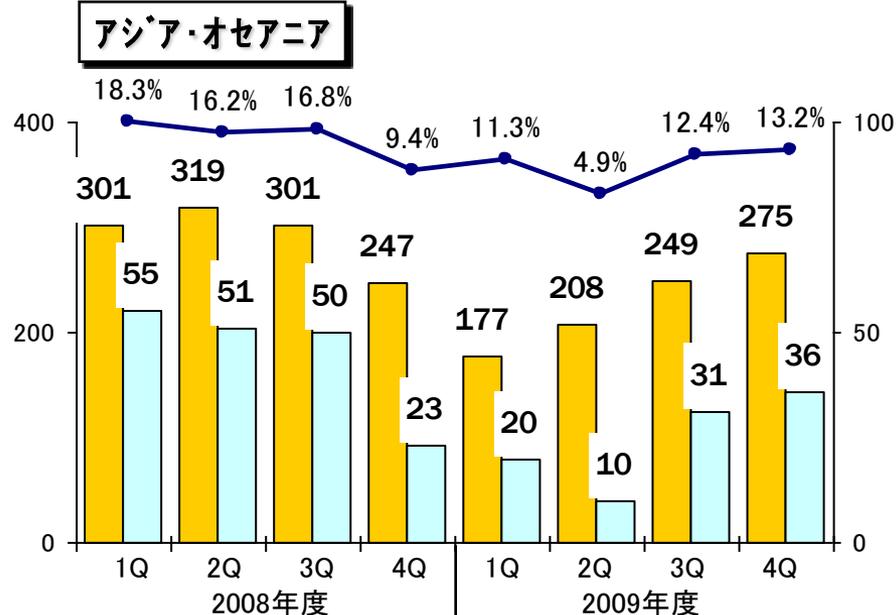
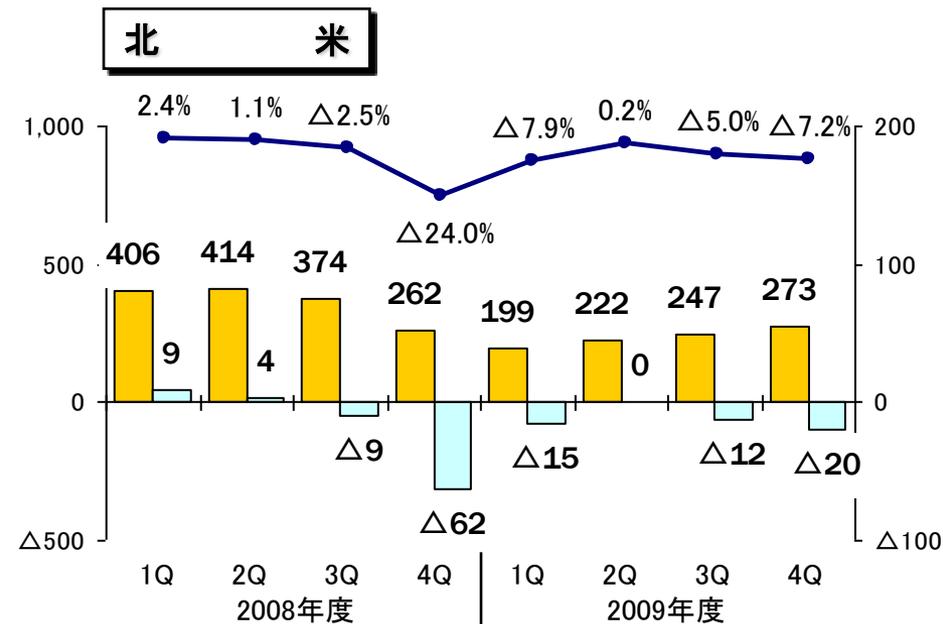
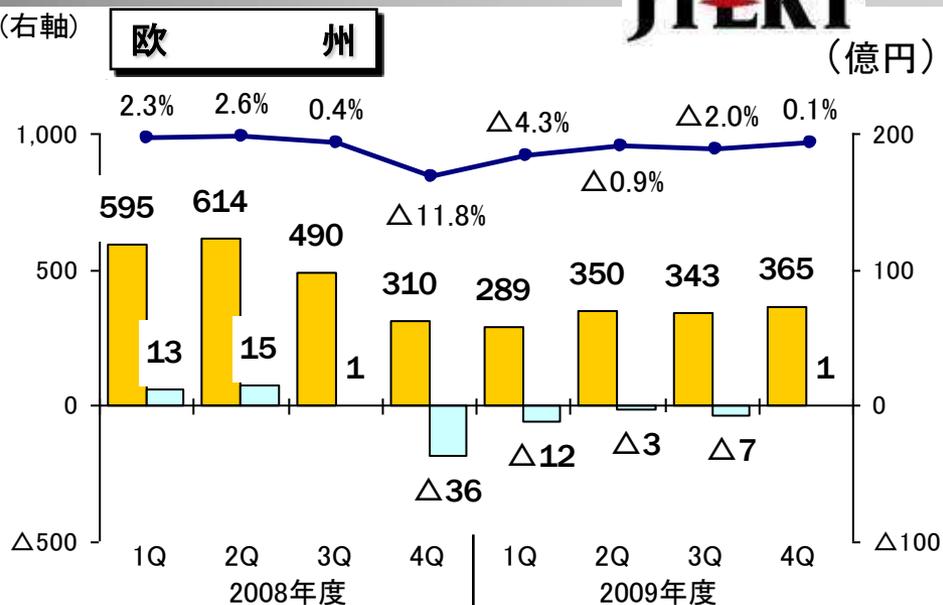
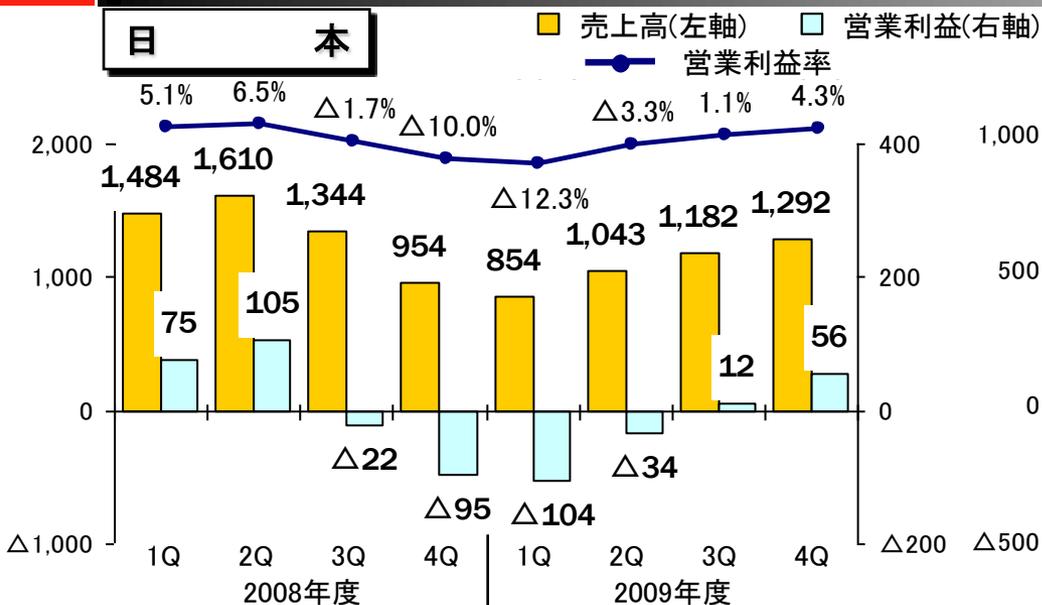


1-6) 地域別営業利益

※「その他の地域」およびセグメント間の「消去」については記載していません。



(億円)



1. 2009年度 業績

2. 2010年度 事業計画

3. グローバル事業戦略

4. まとめ

2009年度 収益基盤の再構築の取組み

◇生産規模に応じた固定費の削減

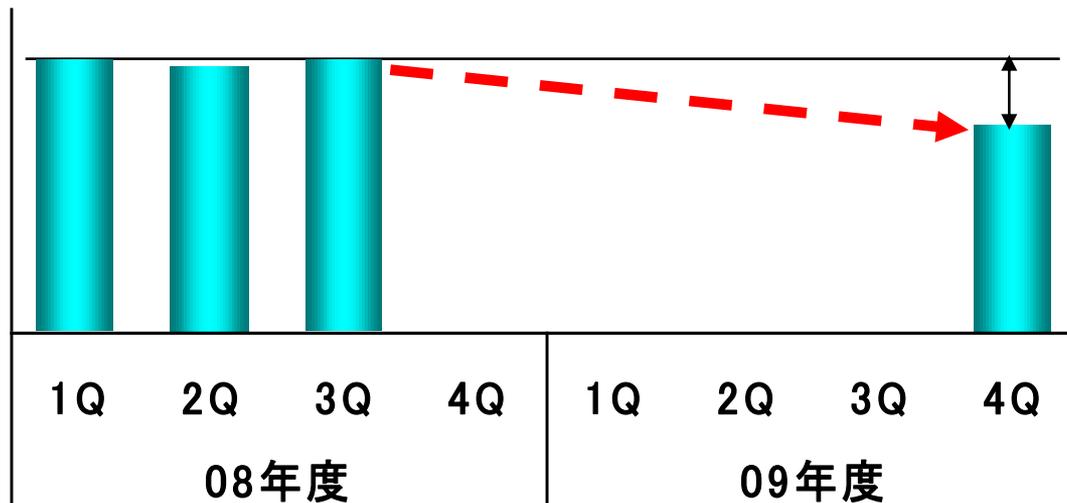
- ・グローバル生産体制の再構築
- ・設備投資圧縮と設備内製化拡大
- ・経費の総点検

◇変動費の完全な変動費化

- ・需要に応じた要員調整
- ・物流効率改善

- ・寄せ止め、拠点再編
(北米・欧州ステアリング工場閉鎖)
- ・グローバル人員 15%削減
- ・固定資産 10%圧縮
- ・償却費 約60億円削減
- ・設備内製率 4ポイント増加
- ・生産応援の実施
(間接部門、グループ会社、取引先)

※数値は08/3比



損益分岐点
約25%改善

2010年度 スローガン

確実な成長軌道へのシンカ！～V字回復の実現～

進化:未知の領域に進む 深化:深く掘り下げる 真価:社会が求める価値を提供する

重点課題

- ① 円高基調を前提とした為替水準での収益体質構築
- ② ピーク時7割の物量での収益体質構築
- ③ 地域・顧客ニーズの多様化に対応した商品力強化

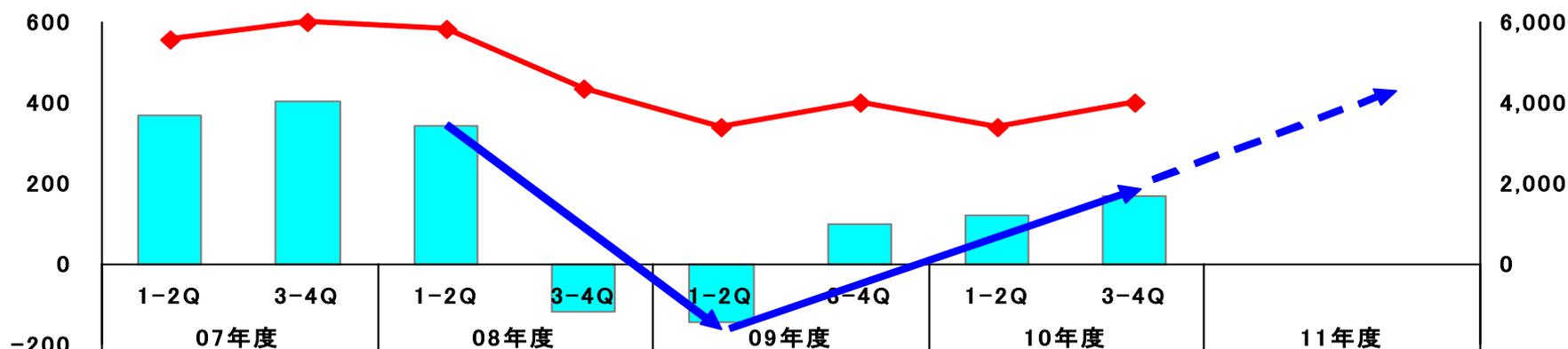
重点施策

- ① 現地調達拡大、現地材採用の推進
- ② グローバル生産体制再構築の継続
- ③ 低コスト化、小型・軽量化技術、商品開発の強化

営業利益(億円)

営業利益 売上高

売上高(億円)



2-3) 財務データ

	2009年度	前提為替レート		対前期比
		U S \$	90.00	
		E U R O	125.00	
	2009年度	2010年度		対前期比
売上高	7,696	8,700		113.0%
営業利益	4	300		—
経常利益	△ 2	290		—
当期純利益	△ 194	120		—
設備投資額	252	280		110.9%
減価償却費	500	450		90.0%

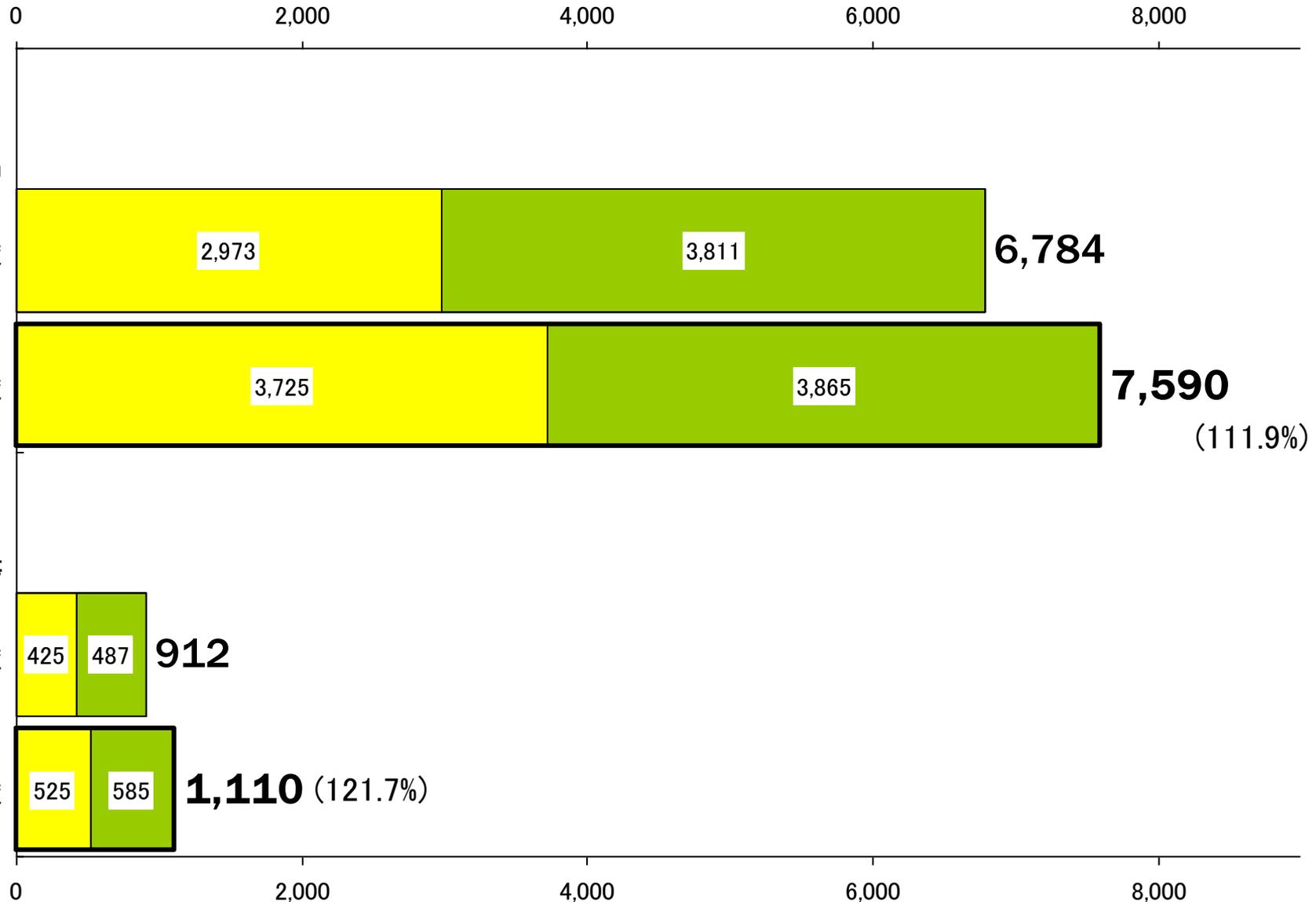
2-4) 事業別売上高



(億円)

※()内は対前期比

■ 上期 ■ 下期

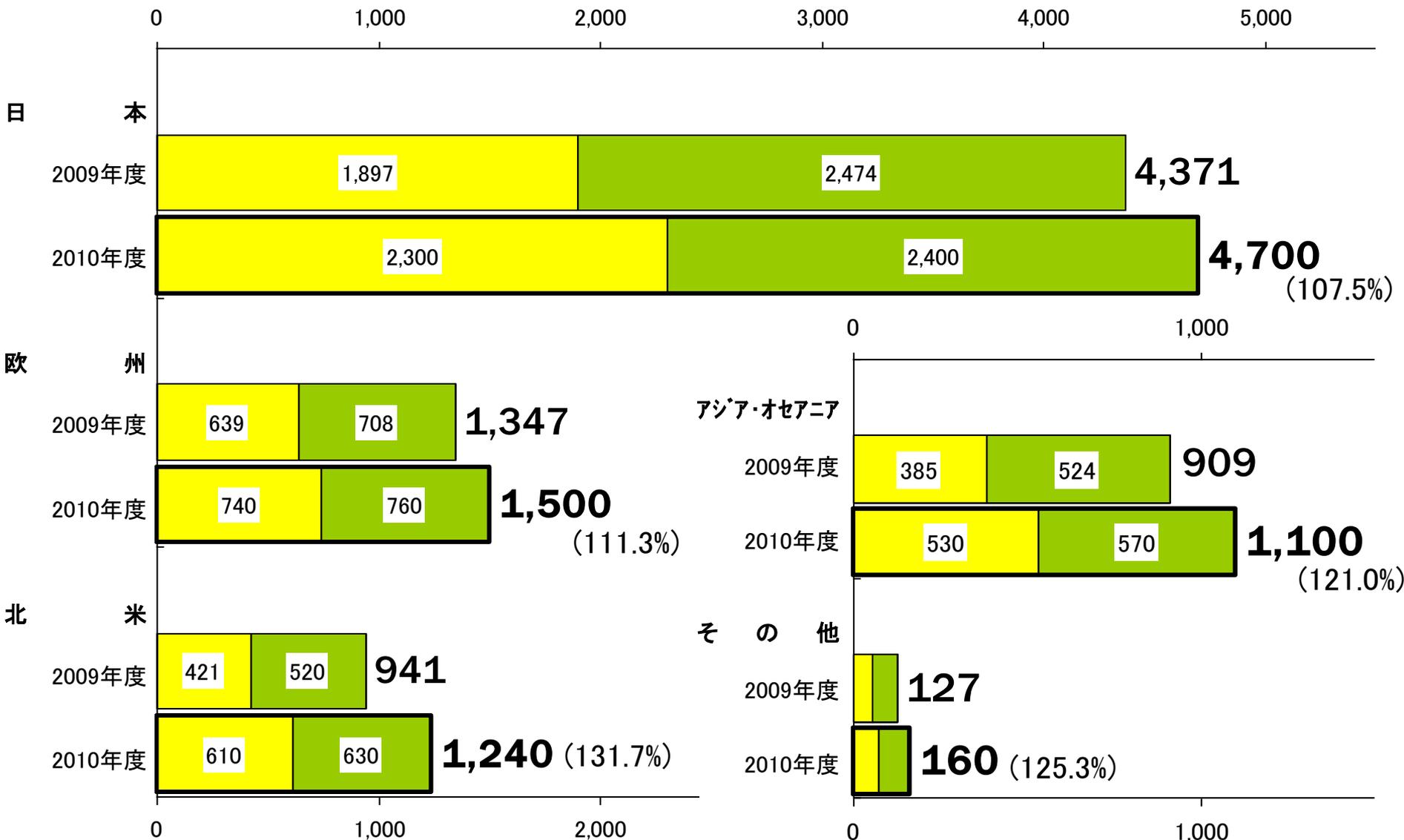


2-5) 地域別売上高



※()内は対前期比

■ 上期 ■ 下期



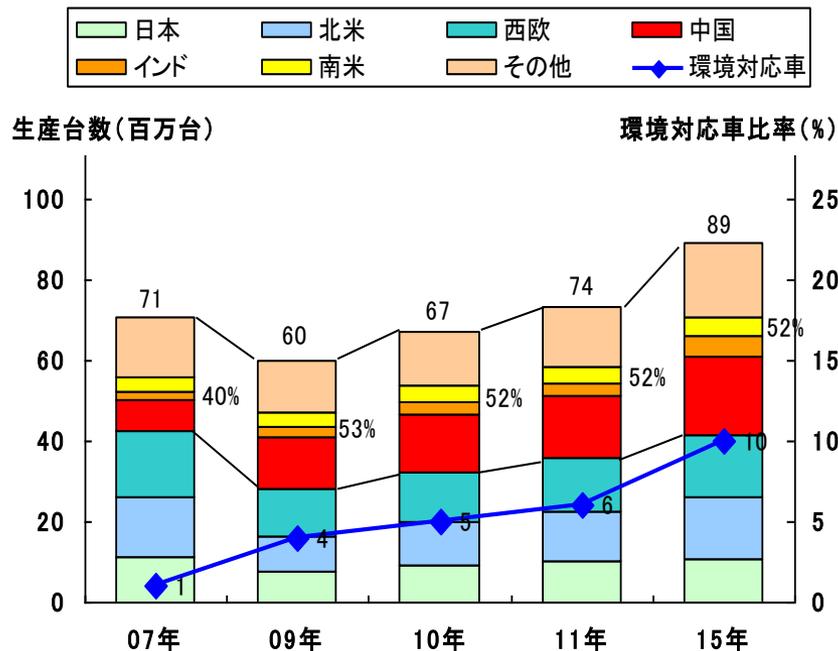
1. 2009年度 業績

2. 2010年度 事業計画

3. グローバル事業戦略

4. まとめ

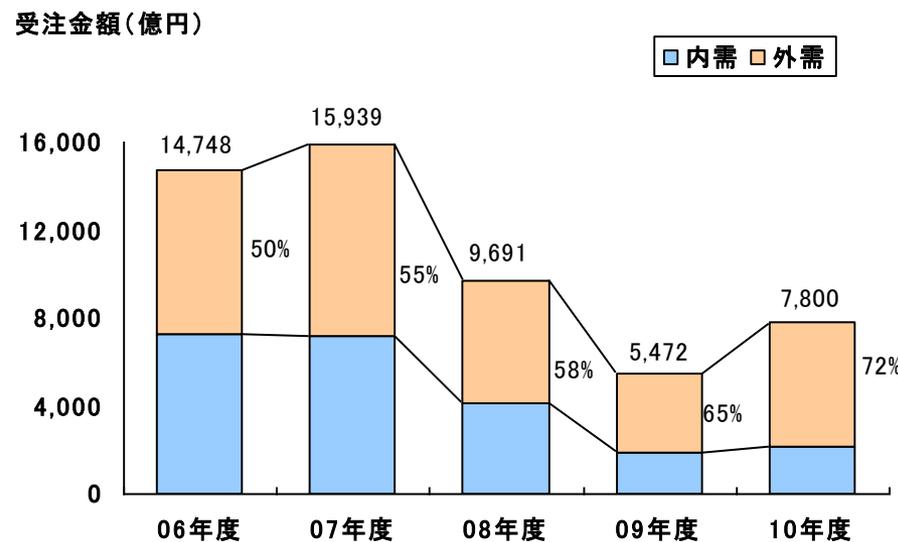
世界自動車生産台数



出典：(生産台数) GI '10/3月版
(環境対応車比率) 野村総研 '10年

新興国需要が成長牽引
環境対応車の伸び

工作機械受注



出典：日本工作機械工業会(10年度は当社推定)

中国中心に外需比率の高まり
新興国メーカーの台頭

エネルギー・鉄道など環境・インフラ分野の成長持続

外部環境

- ◇ 環境・インフラ分野の需要拡大
- ◇ 新興国が経済成長のドライバー
- ◇ 地域・顧客ニーズの多様化



グローバル事業戦略

1. 産業機械・市販分野における事業強化
2. 新興国市場における事業強化
3. 需要動向に即応した商品開発の強化
4. ニードル軸受事業のシナジー効果創出



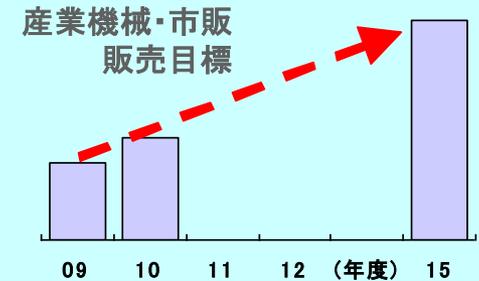
- ◇ ティムケンからのニードル軸受事業買収



産業機械・市販向け軸受の販売強化

<ターゲット>

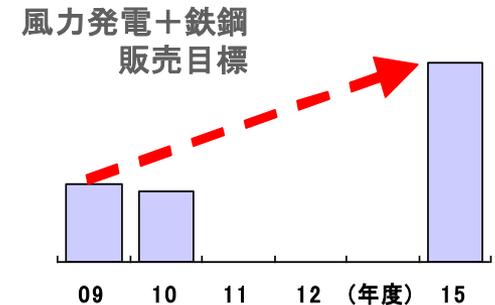
- ◆分野 **鉄鋼、風力発電、工作機械、鉄道車両、市販**
- ◆地域 **中国、インド、南米**



風力発電・鉄鋼

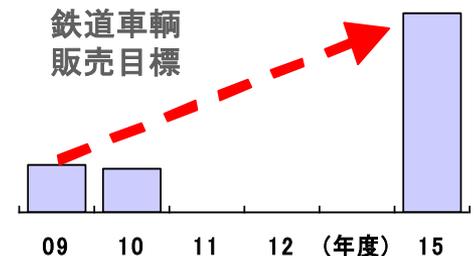
新興国を中心に **民族系メーカー** へ 拡販

- <風力発電>
 - 主軸 ⇒ 強みを活かしシェア拡大
 - 発電機 ⇒ セラミック軸受によるシェア拡大
 - 増速機 ⇒ **新規参入**
- <鉄鋼> 新材料、熱処理技術による長寿命化



鉄道車両

- ①国内向けシェア拡大
- ②国内市場で培った技術・ノウハウを活かし、
海外市場へ新規参入



技術開発力強化

重点分野

航空機

建機・農機

エネルギー

金型

複合加工

高精度加工

加工/段取り時間短縮

大型部品加工

コア技術強化

リソース再配置

成長分野にフィットした商品開発

- ・複合加工・大型部品加工のシリーズ拡大
- ・マシニングセンタにNEWマシンコントローラ搭載
熟練作業者のノウハウを自動化
⇒加工/段取り時間短縮、加工不良削減

エネルギー

航空機

金型



横形マシニングセンタ

地域にフィットした商品開発

- ・新興国でのモノづくりに最適な低価格商品
⇒仕様、機能を徹底的に絞込

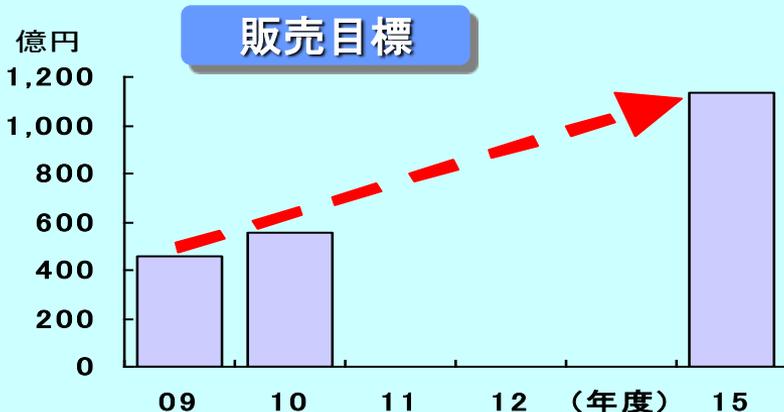
中国

インド



立形マシニングセンタ

各事業でトップシェア獲得を目指す



販売体制の強化

販売・技術サービス拠点・人員拡充

⇒販売技術要員、現地スタッフの拡充

代理店網の拡充

⇒販売代理店、大手商社、関係会社販売網の活用

技術・生産体制の強化

現地に即した商品仕様の確立

現地化・現調化の拡大による低コスト化

中国テクニカル
センターの拡充

3-4) 「新興国市場」における事業強化 ①中国事業戦略



中国テクニカルセンターの拡充

- ◇ お客様のニーズに合った低コスト商品を迅速に開発
- ◇ 試作・評価・設計を充実し、お客様に即応
- ◇ JTEKTの技術力をPR ⇒ 新規開拓を強力推進

捷太格特科技研发中心(無錫)有限公司

<無錫テクニカルセンター>

- ・2010年設立
- ・テストコースの設置
- ・ネットワーク構築

<廈門テクニカルセンター>

- ・JSSX(廈門)で、ステアリングの評価・品質対応を実施
- ・試作、設計機能を強化



強化項目

マーケティング強化
～必要機能の絞り込み

現地仕様の確立
(地域に見合った材料、
開発/設計の実施)

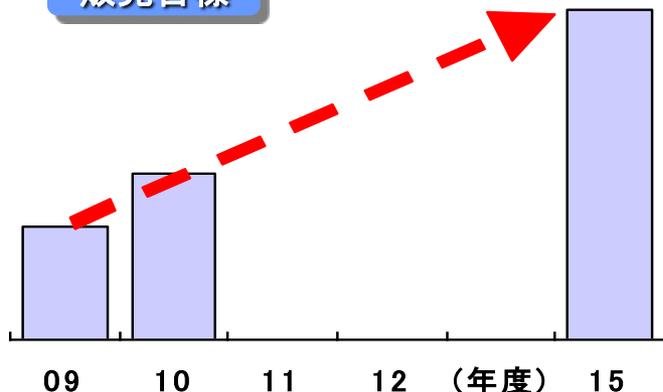
現地仕入先の
発掘・育成・協業

中国市場における
事業基盤構築

3-4) 「新興国市場」における事業強化 ②インド・南米

インド

販売目標



販売体制の強化(軸受・工作機械)

販売拠点、代理店網の拡充

- ・現地代理店網の拡充
- ・ステアリング、ニードル軸受事業の販路活用

技術・生産体制の強化

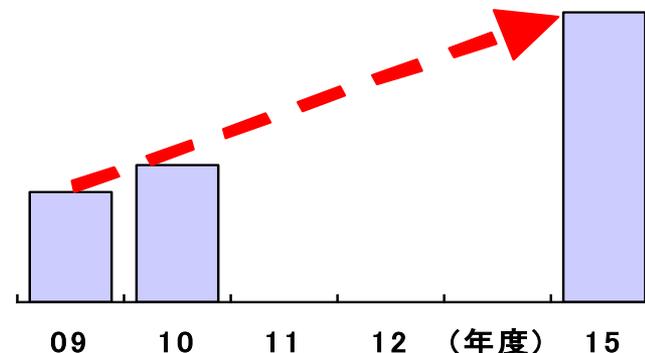
ステアリングの現地化・現調化の拡大による低コスト化

- ・JSAI(EPS新工場) 稼動
- ・北部、南部への拠点拡充

- ・EPS現地生産の布石として
JABR(STG新工場) 移転・稼動
- ・評価設備・現地解析能力 充実

南米

販売目標



3-5) 需要動向に即応した「商品開発」の強化 ①

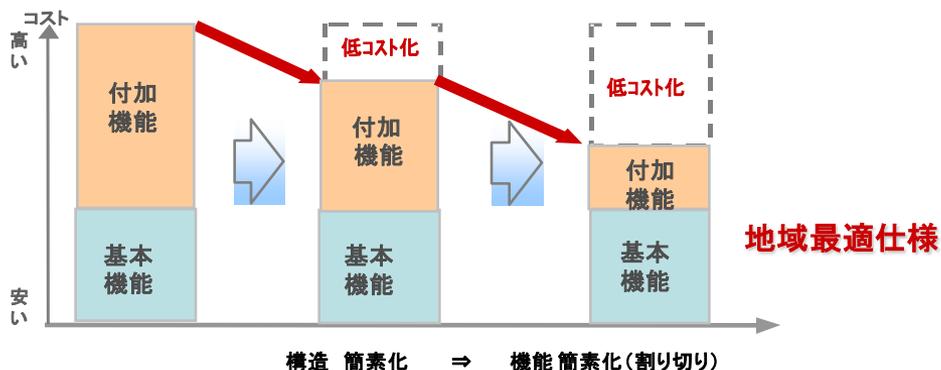
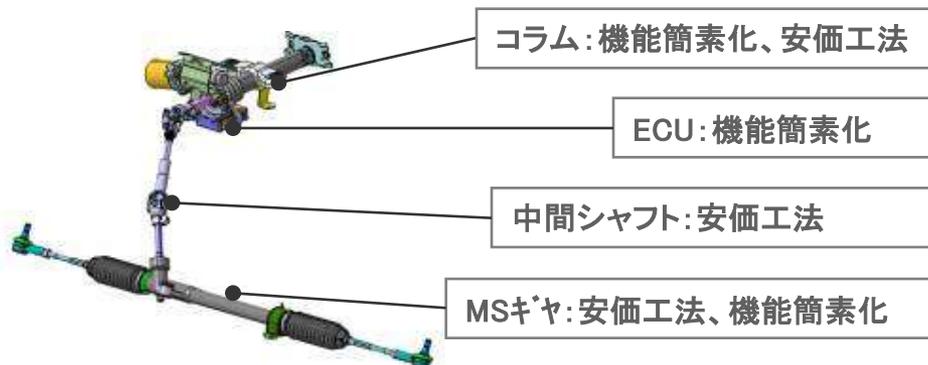


①地域ニーズに対応した低コスト品の取組み事例

こだわり設計、割り切り設計 をコンセプトに 地域最適仕様確立

低コストC-EPS

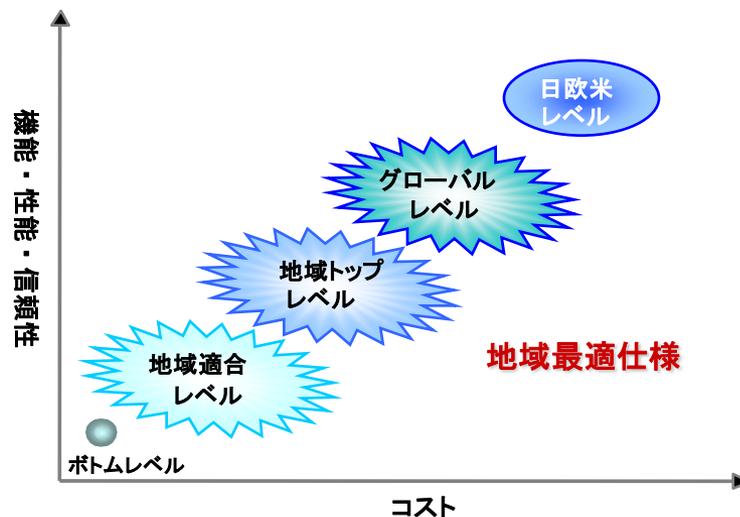
機能簡素化・現調化によるコストダウン



軸受 - ハブユニット

地域最適仕様に層別

用途毎に材料・設計仕様の組み合わせ



②環境対応車(HV/PHV/EV)普及への取組み

環境対応車に対する技術・商品開発の方向性

要素部品の
商品力強化

◆小型・軽量・低トルク化技術の革新・深化

電動ユニット商品の
開発強化

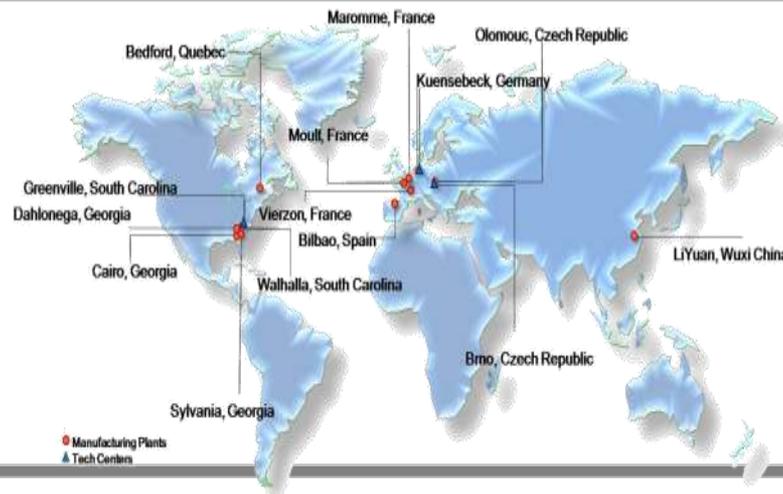
◆軸受・駆動・ステアリング・工作機械で培った
機械要素技術・電子技術の活用

新事業領域の開拓

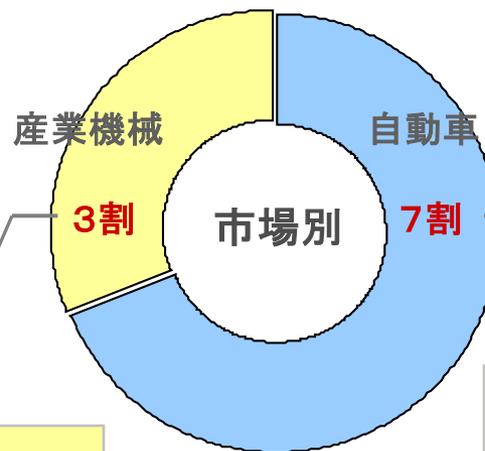
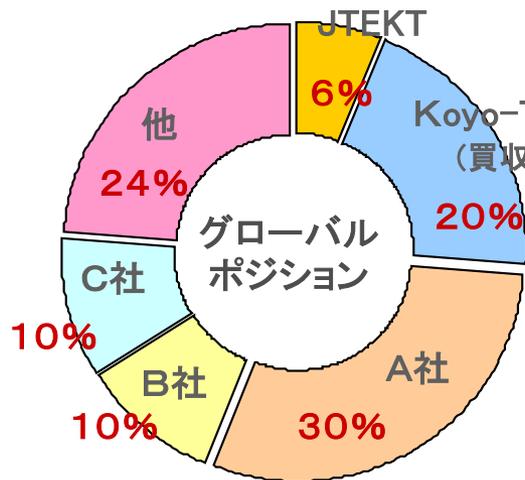


ニードル軸受事業の概要

海外拠点 : 12 生産拠点 (北米5 / 欧州6 / 中国1)
 3 開発拠点 (米州1 / 欧州2)
 従業員数 : 3,242人 (2009年末)
 売上高 : 408百万米ドル (2009年)



ニードル軸受事業の販売構成

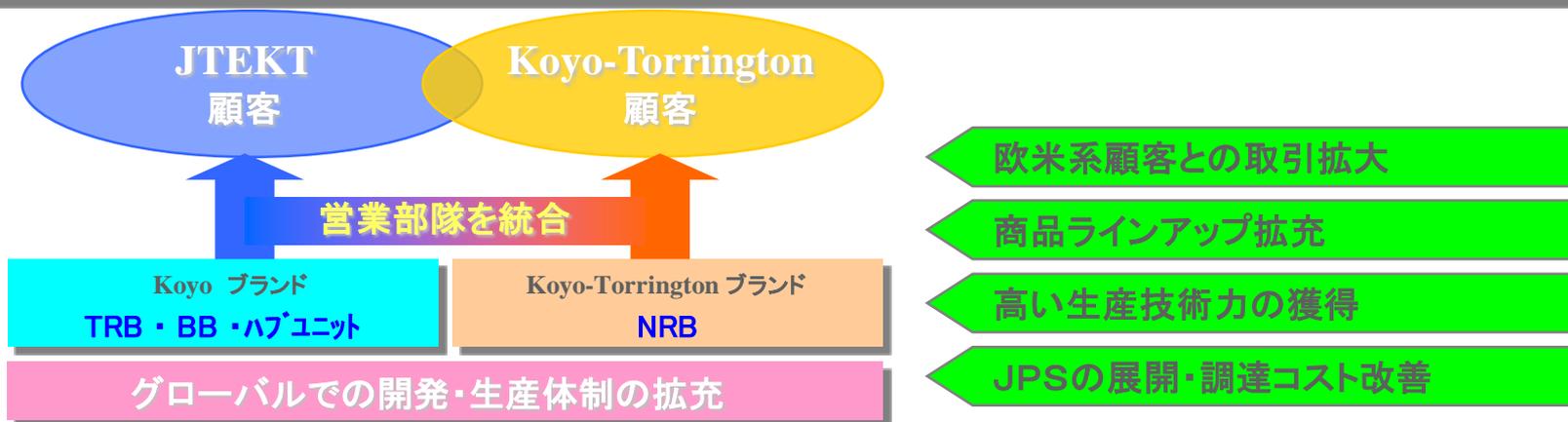


分野別
農機・建機 5割

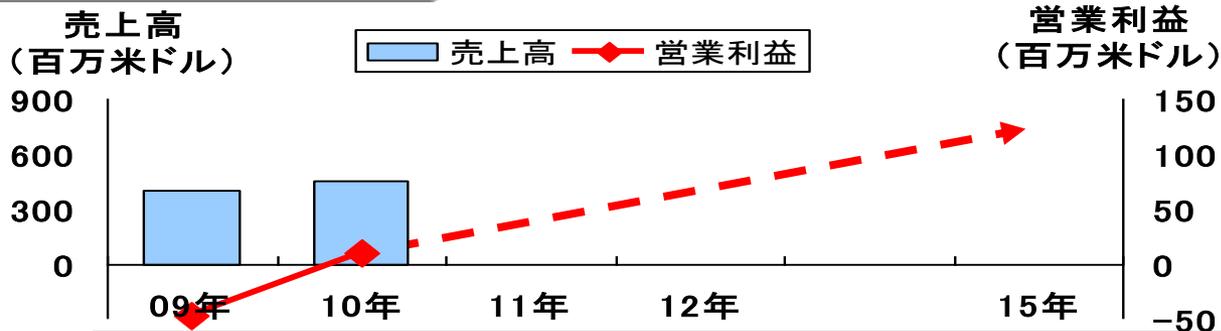
顧客別 (地域)
欧米系 9割
 部位別
トランスミッション 5割

シナジー効果

- ✓ **自動車用軸受 世界NO.1の地位確保**
 - ・欧米系顧客への拡販（軸受 + ステアリング・駆動・工作機械）
 - ・日系顧客への拡販（ドライブトレインの強化）
- ✓ **産業機械・市販顧客への拡販**



事業計画(買収事業のみ)



新たな時代での
躍進・成長へ

将来の成長に向けた事業戦略の展開

新興国
市場

産業機械
市場

低コスト
小型軽量
技術開発

ニードル
事業
シナジー

V字回復の
実現

「収益基盤」のさらなる強化